

三保海岸の現状把握と持続可能な海岸保全

～三保海岸形成に対する河川の影響～

東海大学付属静岡翔洋高等学校 自然科学部

梶山稜輔 三上らん 宮地花奈
顧問 品川杏彩

研究目的

三保半島は世界的に珍しい**砂し**



静岡県・三保の松原

出典：視覚でとらえるフォトサイエンス地学図録 P88

沿岸流によって運ばれた
土砂が堆積してできた
くちばし形の地形

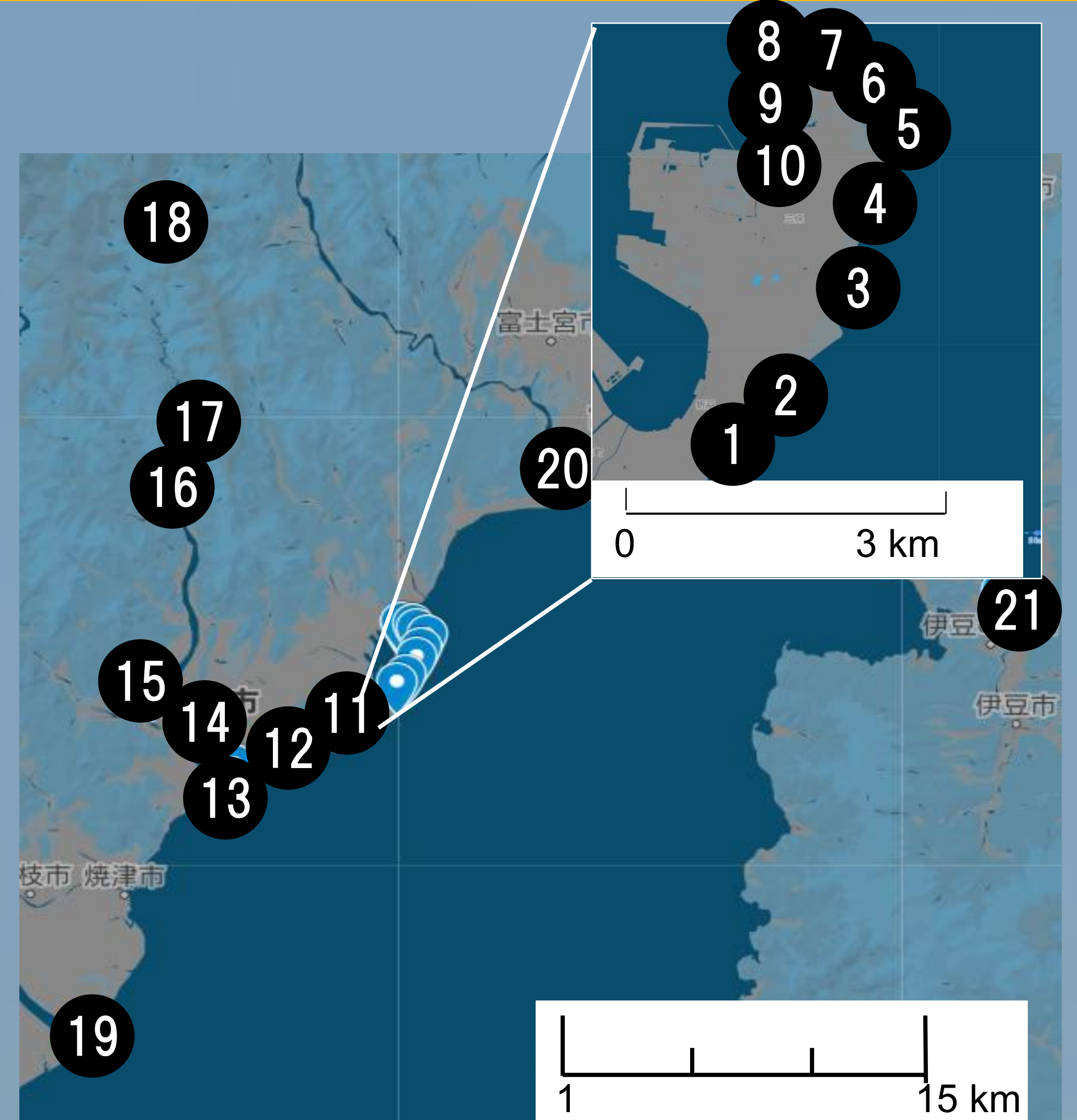
海岸浸食が起こっている

持続可能な海岸保全

調査地

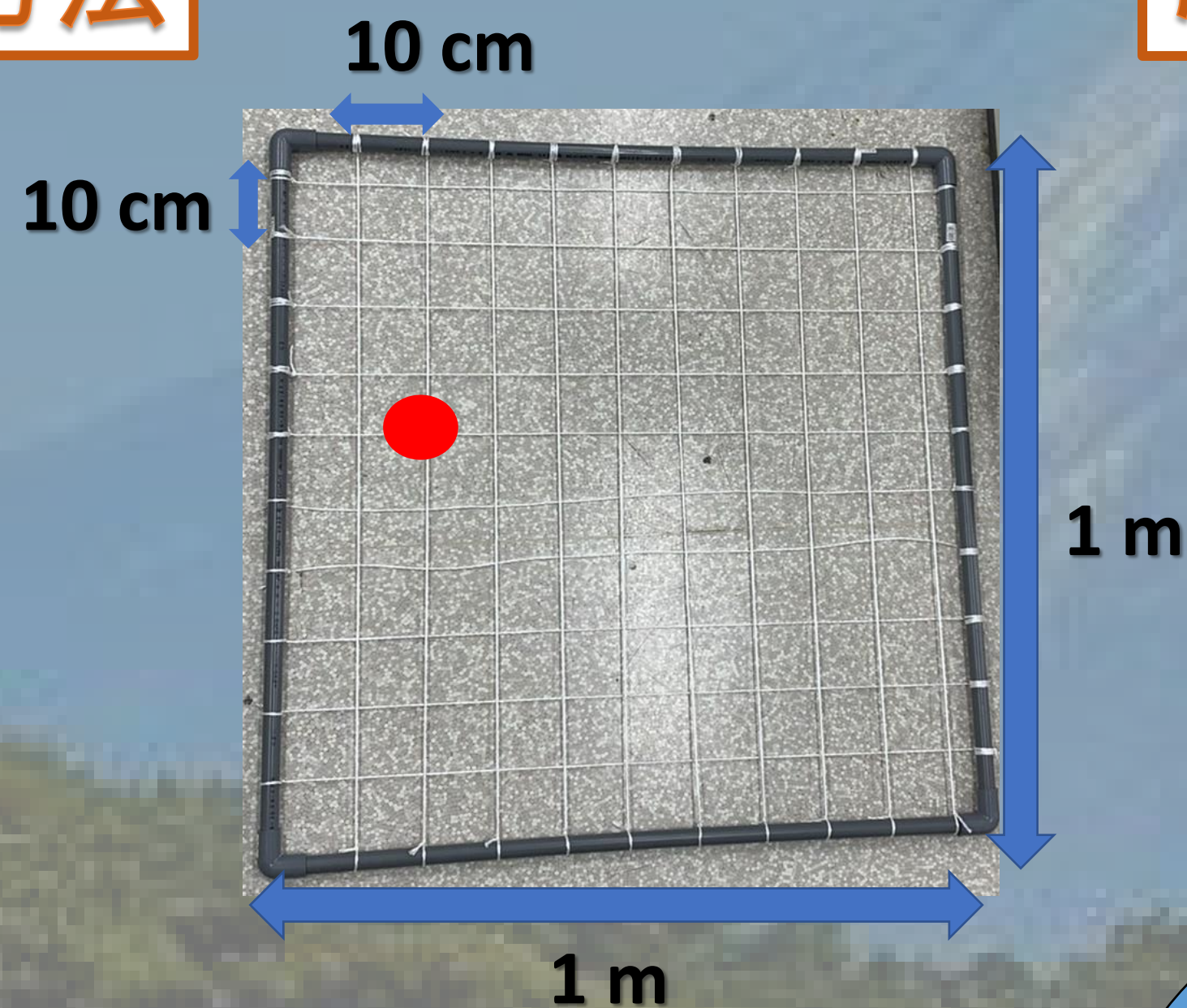
調査地点

- 1～10 : 三保半島
- 11,12 : 久能山下海岸
- 13 : 安倍川河口
- 14～18 : 安倍川
- 15 : 藁科川(支流)
- 16 : 中河内川(支流)
- 19 : 大井川河口
- 20 : 富士川河口
- 21 : 狩野川中・下流域



礫種分布調査

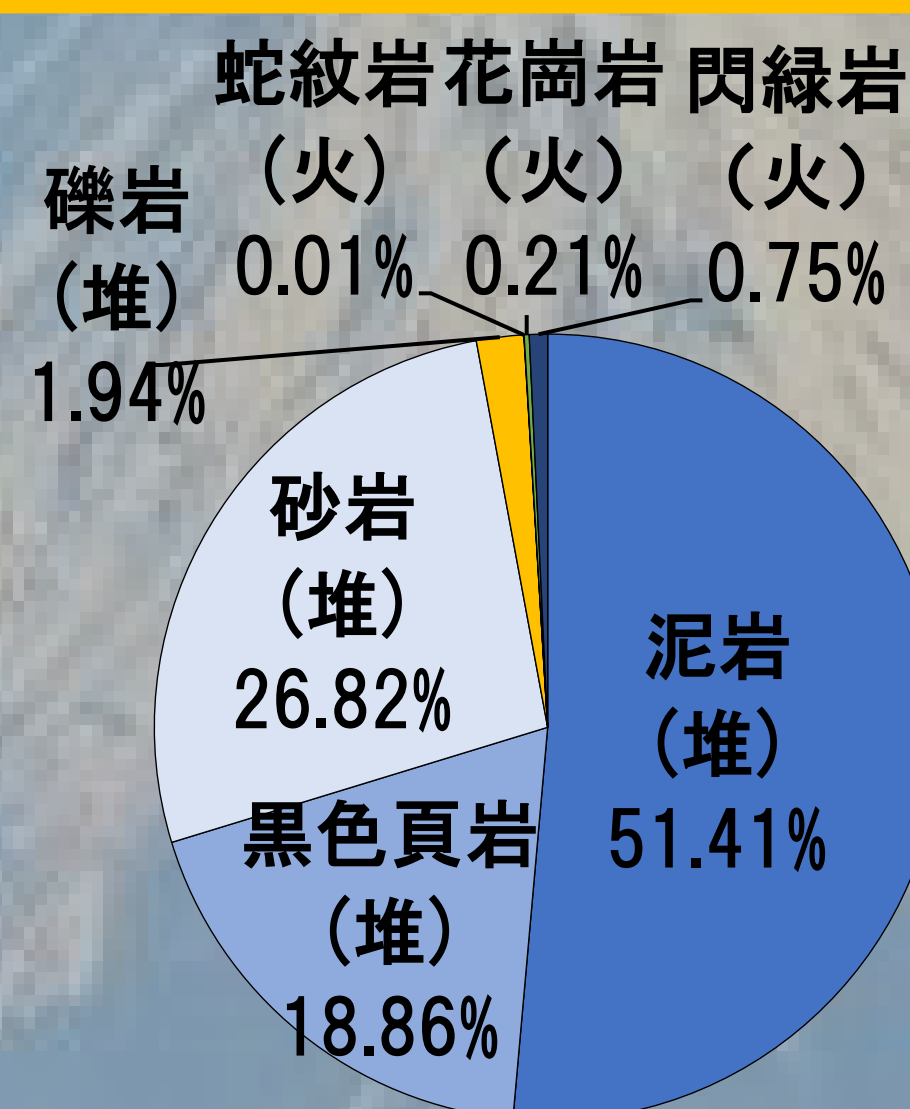
方法



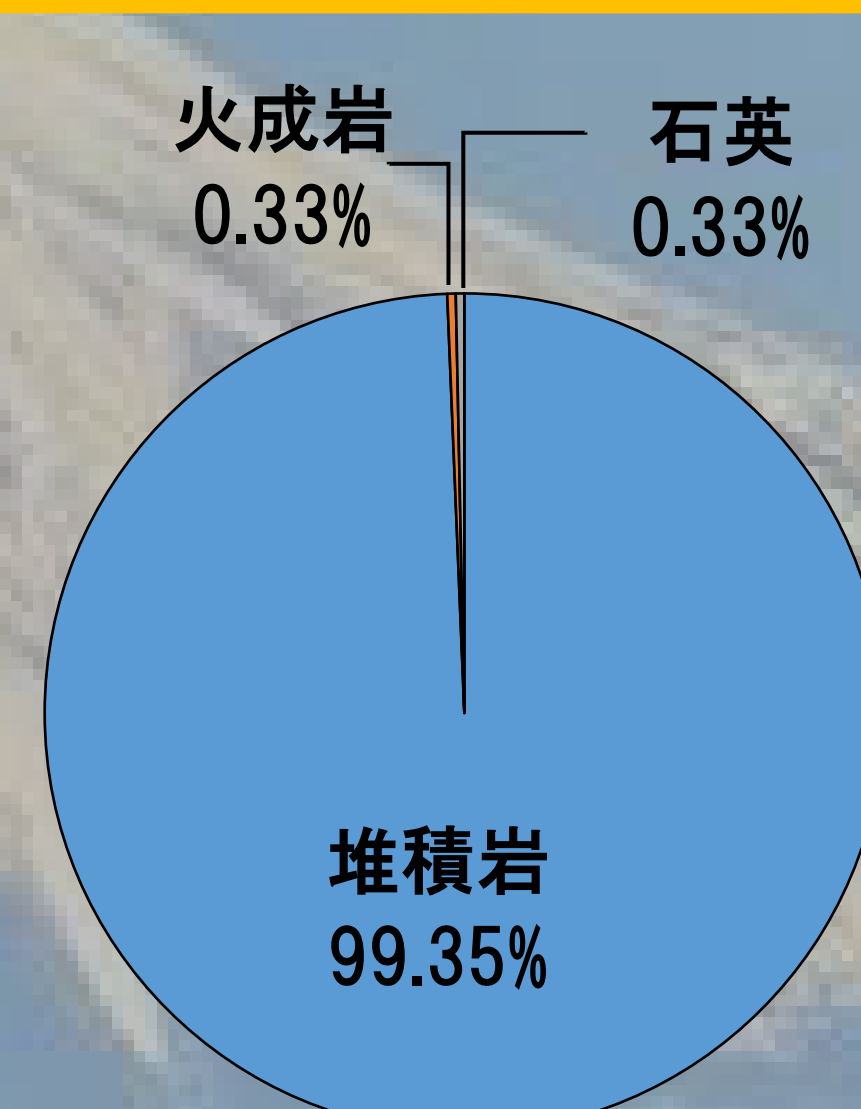
1 m×1 mの枠に10 cm間隔で紐を張り、紐の交点にあった礫を調査(約100個)

➡礫種を同定

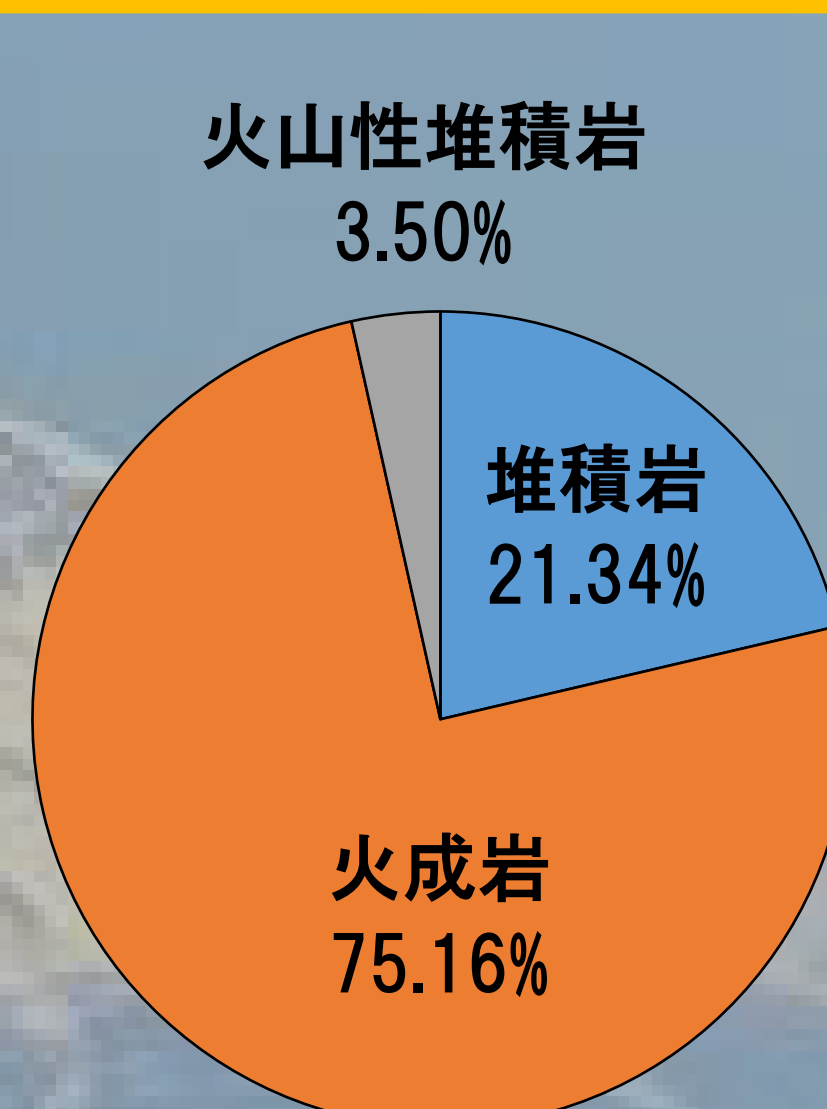
結果



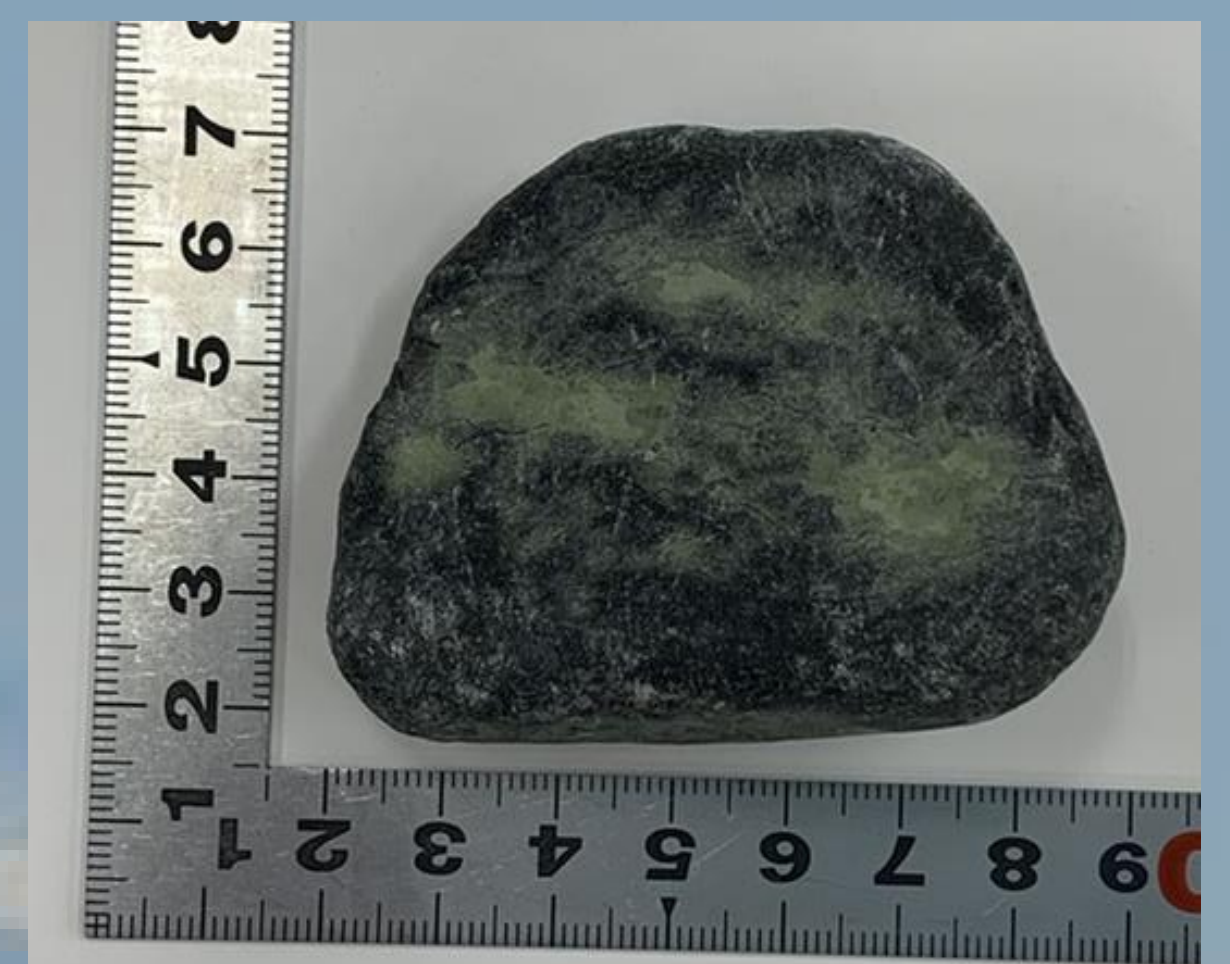
三保半島海岸



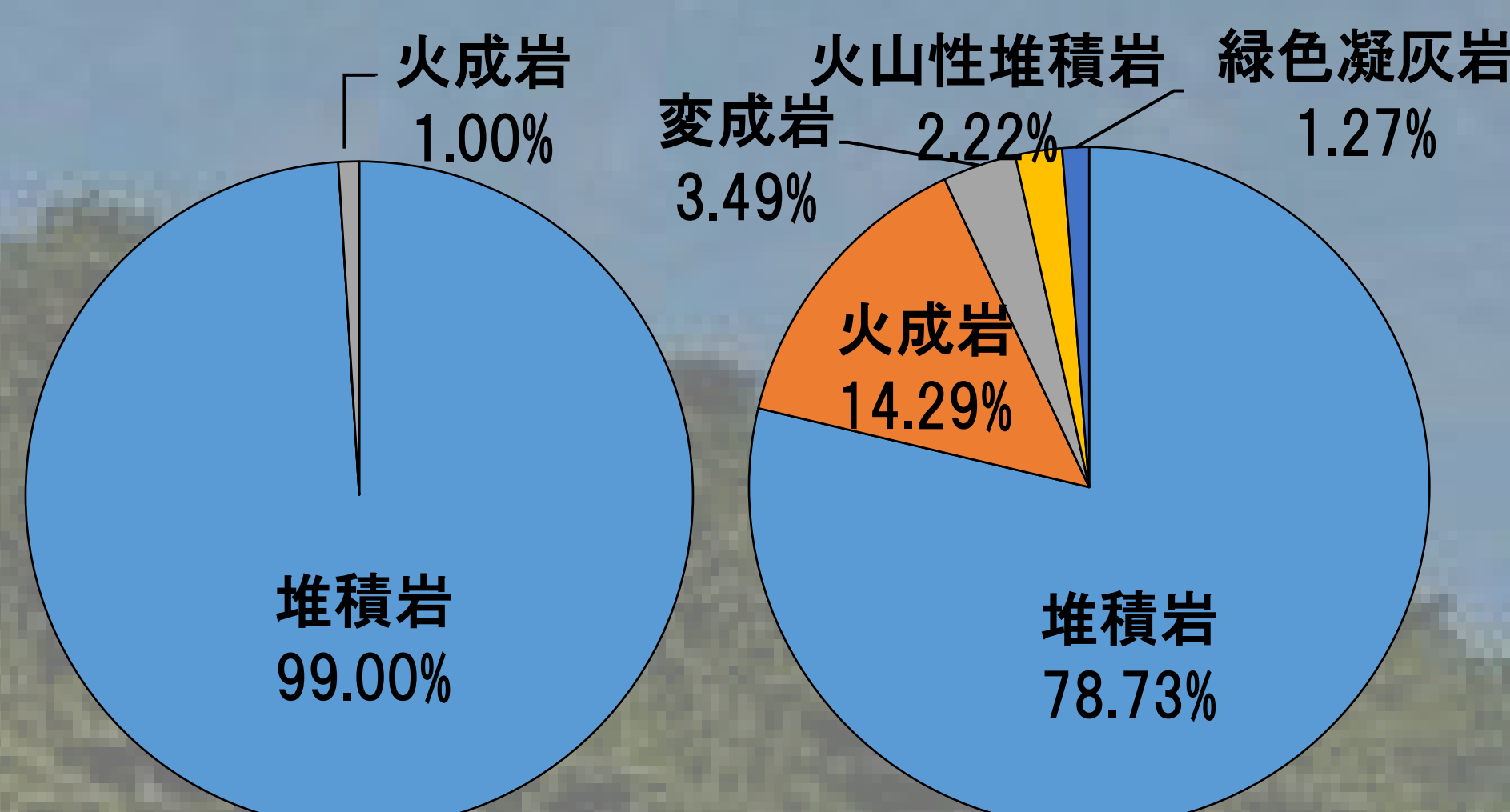
大井川河口



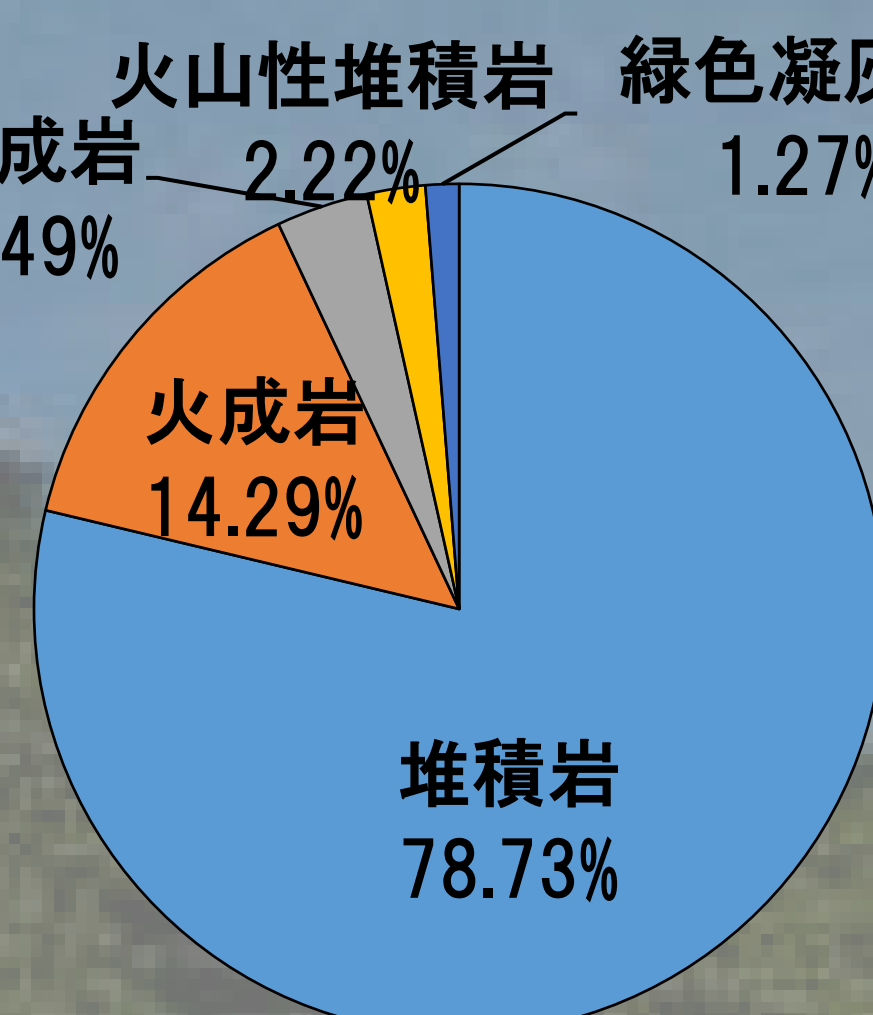
狩野川中・下流域



蛇紋岩



安倍川河口



富士川河口

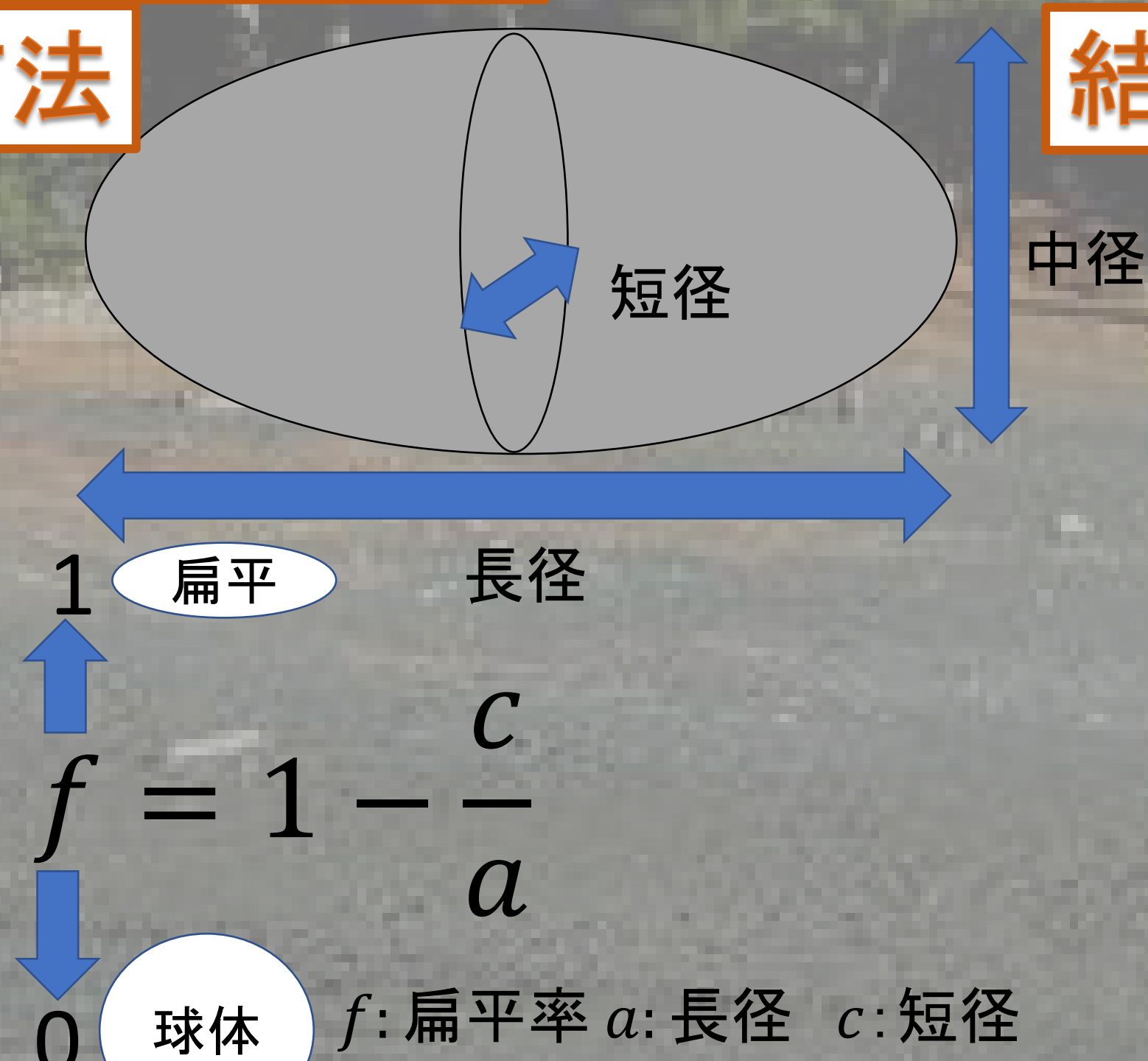
考察

- 三保半島海岸の礫はほとんどが**堆積岩**
- 安倍川河口**、**大井川河口**と礫種分布が類似
- 安倍川支流(中河内川)・三保半島で**蛇紋岩**を確認(大井川では見られない)

三保半島は安倍川を由来とする礫で形成されている

扁平率調査

方法

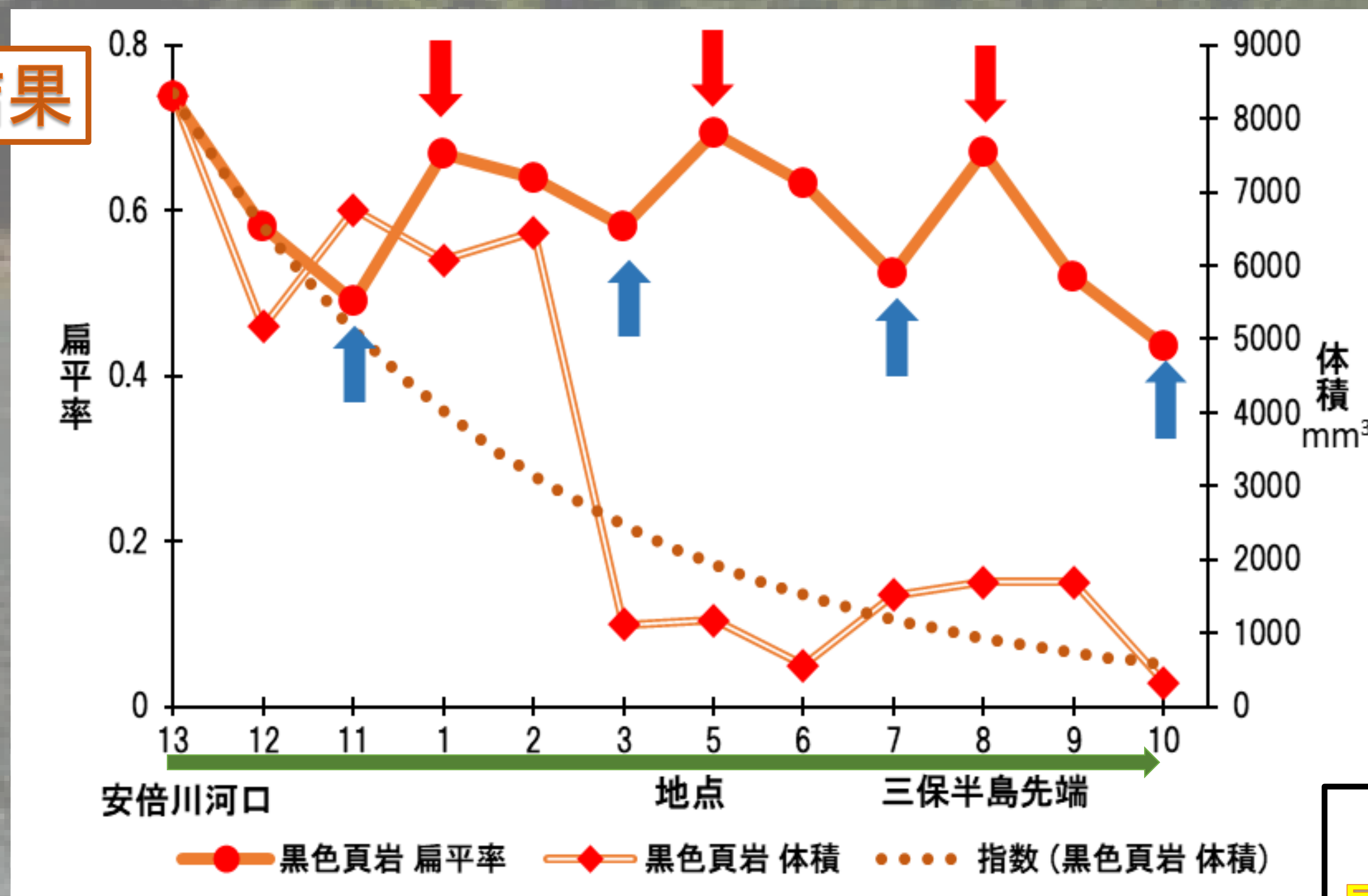


礫種分布調査と同様の方法で礫を選定(約100個)

➡長径・中径・短径を測定

➡扁平率を算出

結果



黑色頁岩の扁平率推移に特徴があった



黑色頁岩

考察

扁平率が**0.5**に達すると
層構造にそって割れる

扁平率が**0.7**に達すると
層構造に対して垂直に割れる

結論

礫種分布調査

➡三保半島は**安倍川**由来の礫で形成されている

扁平率調査

➡黑色頁岩の碎屑は**層構造**と関係がある

今後の課題

- 岩石同定が正確か検証
岩石薄片標本 作成・検鏡
- 三保半島の鉛直方向の礫種分布調査

持続可能な海岸保全
を検討